

令和4年度第1回
柏市立図書館協議会
グループワークまとめ

柏市立図書館

Aグループ意見集約

(Aグループメンバー)

岩永委員，三浦委員，早川委員

Aグループの意見 テーマ1

「地域情報拠点化事業への理解者・応援者を増やすために」

市内に大型書店が少
なくなっている
(駅前)書店とのコラボ

正直私にも危機感な
い

「柏らしさ」が答えられ
ない

くらしとの結びつき
→プラス
両方
マイナス

カシワテラス？
デッキ
→京都の鴨川的な

アフターコロナの中で
来館しない市民が増え
る

↓
Web読書

足をはこぶ

関わりをもつ

自分事にする

顔がみえる
つながり

柏から離れている人々
の復権

若者の二極化
→原宿と地域、スロー

「居場所」が欲しい
→こども・若者

一見さんが来ない

市の情報にアクセスし
にくい
図書館の役割・機能の
発信が目にとまらない

netでの図書館利用数
把握

学校、町会サークルな
ど小さいコミュニティま
とまる

〇〇ランドの客層
親子
→若者
→中高年

「柏に住んでいる人」
以外のサポーター
ex.国分寺カフェスロー

貧困支援と図書館を
結びつける(フードバ
ンク・こども食堂)

図書館使いにくい
(場所, 時間)
駅前がいい 短い

駅前にPR読書コー
ナーが民間業者のみ
である

↓
市の対応

Kamonかしわインフォ
メーションセンター気づ
かない！
いいところなのに...

子どものうちから柏を
知る
→サポーター
子供から大人へ

大人が地元好きになら
ないと...

その「次世代」は柏に
とどまるか

駅近くでのワークス
テーション(役に立つ)

イベントから日常化

次の一手のアイデア
へ
イベント→日常

本を借りない人
=notサポーターでない
本を借りる人
=サポーターでない

「今世代」は
地域情報を持っている
のか？

スローライフ ブーム
エシカル ブーム
地域に目を向ける人

サッカー(Jリーグ)の
発展の仕方

分館と小中学校のコラ
ボの把握

発信！
内から 中から
外から

マルシェ
地元野菜
↓
好きな人 地元に興
味？

心の動き
感情へのアプローチ
“いいな”感

Aグループの意見 テーマ2 「具体的な事業のアイデアについて」

逆に資料収集が
「上手くいっている」例
は？

コミュニティ
スペース

カウンセラー
×
図書館
cf.夏休み明けに図書
館へ

人との
つながり

図書委員と分館

子ども司書と分館

分館での地域情報・相
談を本館職員で対応
できるようにする

Bグループ意見集約

(Bグループメンバー)

笹間委員，羽村委員，高橋委員，丹間委員

Bグループの意見 テーマ1

「地域情報拠点化事業への理解者・応援者を増やすために」

利用ガイダンスWS

↑
資料の利用がわからない人のために

「今」と「未来」
をつなぐ

図書館の利用価値を
わかってもらう。

自然に他館のアーカイブ事例が知れるイベント
ex.フランス国立図書館の天球儀etc.

資料の電子化と公開

YouTube

図書館を使いたくなるような何かがあれば！

ユニークでインパクト
があって・・・

普段見れない
お宝映像！（裏側）

理解協力を得るための
広報活動

地域の歴史や情報の
共有
イベント開催

資料の散逸自体に危機感
を持てる層は限られるのでは？
→文化、伝統、活動などの次元から入る

地域資料の価値のま
えに地域社会の価値が認識されていない

お仕事体験イベント
or
動画
ex.大阪自然史博

司書さんにスポットライト
ex.国立科学博物館
YouTube、『100万回死んだネコ覚え違いタイトル集』

地域の歴史や情報の
共有
イベント開催

動画や声を保存

分館が地域の拠点となる

図書館を「ある」ものから「つくる」ものへ認識を展開していく必要性がある
例)公民館・地域博物館

地域情報の保存調査
(アンケート)
・町会
・ふる協 など

情報提供メールと
BOX設置

地域コーディネーターとしての役割をもつ人を配置

地域情報を保存するためのボランティア団体などを育成、発足

Bグループの意見 テーマ2 「具体的な事業のアイデアについて」

子ども達のため大人が地域の情報を集め保管・利用

街クエスト Quiz

地域を学んでおわりではなく学んだ成果を社会に開く (何かつくる)

市の形の木之机

メディアでシビックプライド

子どもはどこを利用？ 学校図書館から外に引っぱり出すには親がキーでは？

身近な地域情報を使って見学・体験で地元愛を伝承

授業との組み合わせ

地域資料の取材を授業で行い、他者へ伝えるための動画を作成する。分館でモニタ放映 & Web公開

こどもたちと一緒に作る

地域の「今の」子どもではなく地域の「未来の」子どもにスポットをあては？

子ども目線で調べた記録したものも毎年残してもよいかも

子どもの作品を展示する 放映する

郷土学習(地域学習)をinput型からoutput型へ転換する (inputの上)

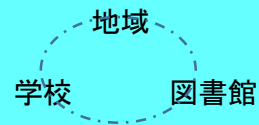
社会科副読本に分館の地域資料の取り組みを載せる

地域学習のパッケージを作る

柏出身の大人に今の地元をPRし、地元へ輸入

子ども目線で調べた記録したものも毎年残してもよいかも

イベントでよびこむ



地域の人材バンク

「柏市って面白い場所みたいだよ」

図書館 = “地域” と “学校” をつなぐ架け橋

学校に出かけて行く

「学校図書館」と「分館」のパイプを太くする

体験型の学習

学校の先生に負担になるようだ×

↑
学校ではなかなか体験が難しい...